



## 戸定歴史館・企画展 古写真で見る徳川昭武の生活とその視線 — つながる人・場所・時間 —

江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜の弟で、水戸藩第11代藩主であった徳川昭武は、明治17年(1884年)に戸定邸に移り住み、狩猟、釣り、陶芸など様々な趣味を楽しむ中、写真にも熱中しました。写真がまだ珍しく高価だった時代、昭武は、自身の家族だけでなく、江戸川流域の身近な自然、郊外の農村風景など、多くの枚数を費やして生活的一幕を写しとっています。

彼のまなざしを映した古写真と、昭武が手がけた趣味の作品、当時の生活を記録した資料群から、徳川昭武の後半生を紹介し、昭武が見ていた明治時代の松戸から、私たちが見ている現在の松戸へとつながる人・場所・時間に注目します。

### 企画展 概要

- 会 期 **前期** 令和4年 7月16日(土)～令和4年 9月25日(日)  
**後期** 令和4年10月 8日(土)～令和4年12月25日(日)  
※前期と後期の間に、展示替え休館があります。

☆会期前日となる、令和4年7月15日(金)13時～17時、  
記者の皆さま限定で展示をご覧いただけます。ぜひご取材ください。

- 展示構成
 

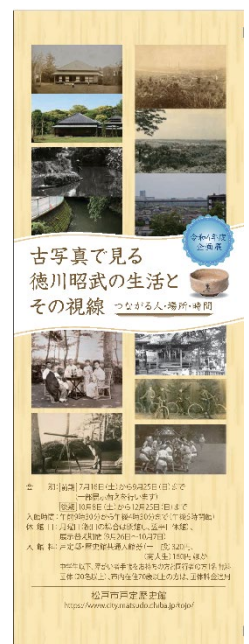
プロローグ	昭武とカメラの歴史
第1章	明治の松戸～昭武のまなざし
第2章	徳川昭武の生活
第3章	現在の松戸
エピローグ	過去・今・未来をつなぐもの

- 展示概要 徳川昭武や親しい親族、交流のあった写真家らが撮影した写真から明治時代の松戸の風景や生活を見るとともに、徳川昭武の生活を考察します。撮影地点が判明している写真は、明治～現在を比較した投影を併用してご紹介。

この展示を通して、時代の変化を受けて変わったもの、時代を経ても変わらないものは何か、考えていただくきっかけとなる展覧会を目指します。

- 展示数 約50点(複写写真、展示入替分を含めた展示予定点数)  
※期間中、作品保護のため、一部展示替えを行います。

※作品のコンディションによって、展示内容が変更になる可能性があります。



(イメージ)



- **展 示 品** 明治期の古写真、複写写真、調度品、徳川昭武作の陶磁器など。  
市内アーティストとコラボし、期間限定のインスタレーション展示を予定。  
※現在、詳細について企画調整中

**【展示予定の一部をご紹介します】**

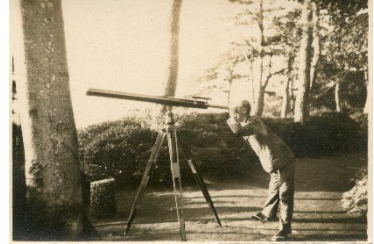
モノクロ、セピアカラーの写真は古写真です。  
複写写真を併用して展示します。



秋葉神社御輿（戸定邸庭園にて）1909年6月30日撮影  
か？撮影：徳川昭武  
松戸市戸定歴史館所蔵



同じ地点から撮影した  
現在の写真  
（→推定）



望遠鏡を覗く徳川昭武  
松戸市戸定歴史館所蔵



子供のハンモック遊び（1）  
1907年6月19日  
撮影：徳川昭武  
松戸市戸定歴史館所蔵

- **会 場** 戸定歴史館・展示室
- **入館時間** 9時30分～16時30分（17時閉館）
- **休 館 日** 月曜（休館日が祝日の場合は翌日休館）
- **入 館 料** 一般150円（戸定邸との共通入館券一般は320円）  
高校・大学生100円（戸定邸との共通入館券高大生は160円）  
※中学生以下無料



■ **戸定邸とは**……明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る全国で唯一の建物です。建物は国の重要文化財、旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）は国の名勝に指定されています。

**【本件に関する問い合わせ先】**

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-4-1  
松戸市生涯学習部文化財保存活用課戸定歴史館 ☎047-362-2050  
FAX047-361-0056 ✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp